# 平成27年度 学校経営計画書

学校番号	4 2	学校名	静岡県立静岡東高等学校	校長名	平井はる美
------	-----	-----	-------------	-----	-------

#### 1 目指す学校像

### (1) 教育目標

ア 教育方針 学業と人間形成の両面において、生徒一人ひとりを大切に育てる

イ 生徒実行目標 自分に負けるな

#### ウ 教育重点目標

- (ア) 時代や社会の変化に応じて教育環境を整え、生徒・保護者・地域から「生徒を伸ばす進学校」として常に信頼 される学校を目指す。
- (4) 創立以来の自主・自律の精神を継承し、授業・部活動・学校行事等の様々な教育活動において、生徒個々の主体的に学び粘り強く努力する姿勢、集団内における思いやりの心やリーダー性、豊かな人間性を育成する。
- (ウ) 生徒の可能性を広げて確固たる志を育て、生涯にわたって自己実現を目指しながら、我国及び国際社会の発展に貢献できる人材を育成する。

#### (2) 目標具現化の柱

- ア 生徒の学力を分析しながら組織的な授業改善に取り組むとともに、土曜授業・週末課題・学年週テスト・補習 等をとおして生徒の学習習慣を確立させ、生徒一人ひとりの学力の保証と伸長に努める。
- イ 外部人材の活用や高大連携をとおして、大学の専門性や高度な理系教育への興味づけを図り、高い志に向けた 進路目標に挑戦しようとする意欲を育てる。
- ウ 授業・部活動・自主学習の生活サイクルや学校行事の中で、目標に向けて自己コントロールする力や主体的な 行動力、グローバル化へ対応する力等を養い、心身のバランスのとれた成長を促す。
- エ 災害・事故・病気等から積極的に命を守り、集団内で自他の存在を大切にする態度を身につけさせる。
- オ 広報活動を充実させ、地域の中学校や県民に対して本校の教育内容や教育成果についての周知を図る。

## 2 本年度の取組(重点目標はゴシック体で記入)

※1:理系高大連携推進委員会、※2:部活動の指導工夫・改善委員会、※3:台湾との交流実施委員会、

※4:国際理解教育推進委員会、※5:いじめ防止対策委員会

取組	L目標	達成方法(取組手段)	成果目標	担当
(1)		アー授業研究	・教員の授業公開率 100%	
	140	(ア) 授業改善についての職員研修	・外部教科指導セミナー参加者数 3人以上	研修課
	授業	(イ) 先進校への教員の訪問研修	・教員の先進校訪問人数 4人以上	
	業改	イ 授業評価	・土曜授業の外部評価 良好が 70%以上	教務課
	善善	(ア) 土曜公開授業外部アンケート	・学年週テスト回数 19回	教务录
		(イ) 生徒による授業評価	・1・2年家庭学習時間調査回数 3回以上	
	と学	ウ 学力の定着	・1・2年家庭学習時間 1日平均2時間以上	
	力	(ア) 模試・センター試験の結果分析	・職員会議での模試の分析回数 3回以上	進路課
	向	(イ) 計画的な学年週テスト・週末課題・	・1・2年11月進研模試偏差値平均 55以上	学年
		朝学習・補習授業	・センター試験平均点 全国平均+5%以上	
	ᆂ	(ウ) 予備校との連携	・予備校との連携講座参加者数 20人以上	
		(エ) 読書による知識と読解力の向上	・図書館の貸出本冊数 1,800 冊以上	図書課

		ア キャリア教育	・面接週間回数 5回以上	
(2)	志	/ ・ヤヤリノ教目   (7) 全校生徒対象キャリア講演会	・ 画接週间回数 5回以上 ・ 専門教養講座の単位取得生徒数 10人以上	教務課
	の	(1) 主牧生徒対象ギャリノ 講演会   (1) 1 学年キャリア講座による職業観の育成		
	育	(4) 1 子中イヤック 神座による椒来観の育成 イ 高大連携	・キャリア講演会生徒満足度 80%以上	
	成	- · · · · <del>- · ·</del>	・キャリア講座生徒満足度 80%以上	
	ح	(7) 県内大学での高大連携専門教養講座	・東京大学訪問生徒数 40 人程度	
	進	(イ) 静岡大学理学部・農学部での実習体験	・大学模擬授業生徒満足度 80%以上	
	路	(ウ) 東京大学での講義受講と施設見学	・大学訪問実施率 2学年100%	進路課
	目	(エ) 2学年の大学模擬授業	・国公立大学現役合格者数 150人以上	学年
	標	(オ) 2学年の大学訪問	・センター試験5数科受験率 70%以上	
	^	ウ 進路指導	・学年進路保護者会回数 学年各1回以上	
	Ø	(ア) 組織的できめ細かな進路指導	・進路検討会回数 3年生全員に2回以上	
	挑	(4) 綿密な3学年進路検討会	・ハイレベル模試受験者数 各30人以上	
	戦	(ウ) 進路シラバスの改善	<ul><li>静大理学部と農学部での実習体験参加者数</li></ul>	<b>※</b> 1
	- <b>V</b>	(エ) 1・2年ハイレベル模試への挑戦	20 人以上	<b>*</b> 1
		ア部活動	・遅刻生徒数 1日平均全校で7人以下	教務課
		(ア) メリハリのある生活習慣	・欠席生徒数 毎月前年度より減	初分休
	能	(イ) 1・2年生全員の部活動所属	・1・2年生部活動加入率 100%	
	力	(ウ) 部活動によるボランティア	・運動部活動県大会出場率 100%	生徒課
	\$	イ 国際理解教育	・東海大会以上への出場部活数 5部活以上	
(0)	特	(ア) 台北市立内湖高級中学校との交流	・部活動外部指導者数(県の事業) 7人以上	<b>※</b> 2
(3)	性	(イ) 2学年の海外修学旅行		
	$\mathcal{O}$	(ウ) 生徒英語研修 (国内留学)	・内湖高級中学校との交流回数 2回	<b>※</b> 3
	育	ウ 特色ある学校行事	・修学旅行生徒満足度 80%以上	2学年
	成	(ア) 全校生徒対象の文化教室	・生徒英語研修の参加者数 30 人以上	<b>※</b> 4
		(イ) 3日間の文化祭	・英語研修の生徒満足度 80%以上	<i>∕</i> ∧ <b>1</b>
		(ウ) 陸上競技場での体育大会・マラソン大会	・文化教室生徒満足度 70%以上	図書課
	^	ア防災・減災	・防災訓練実施回数 3回以上	総務課
(1)	命	(ア) 防災訓練の実施	・重大な生徒交通事故件数 0件	/ <b>↓</b> _/+÷m
	を	(イ) 危機管理マニュアルの実践	・組織的な街頭指導回数 3回以上	生徒課
	守っ	イ 交通マナーの向上	・交通教室回数 各学年1回以上	学年
	る ***	(ア) 職員・生徒・保護者による街頭交通指導	・体罰・いじめの発生件数 0件	<b>※</b> 5
(4)	教	(イ) 交通指導員による学年交通教室	・生徒検診結果による治療率 前年度より向上	
	育の	ウ健康教育	・保健便り発行回数 9回以上	保健課
	(T) +44-	(ア) 熱中症やウイルス性疾患の予防	・ウイルス性疾患による学級閉鎖件数 0件	
	推	(イ)健康講座・薬学講座・AED講習	<ul><li>・グループエンカウンター実施回数 全クラス1回</li></ul>	
	進	(ウ) 教育相談機能の充実	・教育相談だより発行回数 8回以上	教育相談課
	広	ア 学校公開によるPR	・ 土曜日の学校公開回数 8回	
	報	(ア) 土曜日の学校公開・部活動公開	・土曜日の部活動公開回数 2回	教務課
(5)	活	(4) 校内美化	・公開授業の参加者数計 1,500 人以上	
	動	イ地域への発信	・土曜日校内美化への外部意見 批判0件	保健課
	か	(ア) HPによる教育発信	・HPアクセス回数 15 万回以上	情報管理課
	充	(イ) 新聞による学校PR	・新聞記事掲載回数 30 回以上	総務課等
	実	(ウ) 明るく親切な窓口対応		
	天	20 - 10-22 30-00 1747 <b>-</b>	・事務室窓口へのクレーム件数 0件	事務室